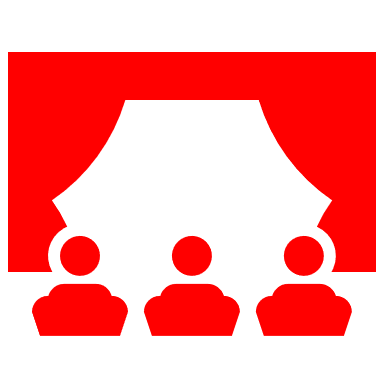
評価を指導に生かす！授業エキスポシート



シートの目的　評定に用いる評価の授業構想を行い、紹介し合い、評価を判定するポイントの目線合わせを行う

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　時 | 令和4年2月28日 | 授業者 | 群馬太郎 |
| 科　目 | 物理基礎 | クラス | 1年1組 |
| 単元・教材名 | 力学的エネルギー | 場所 | 物理実験室 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①学習指導要領や学校の実態を基にして、単元の評価規準を作成する | | |
| 単元の評価規準 | | **☑学習指導要領や各校の実態を踏まえて作成していますか？** |
| 知識・技能 | 力学的エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 |
| 思考・判断・  表現 | 力学的エネルギーについて、観察、実験など通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 力学的エネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ②年間指導計画やシラバス、指導と評価の計画シートを基にして、本時の評価の計画を作成する | | |
| 本時の評価の観点 | | **☑本時のねらいは先生方が育てたい生徒像を反映したものになっていますか？** |
| 知識・技能　　　　　　　　　　思考・判断・表現　　　　　　主体的に学習に取り組む態度 | |
| 本時のねらい | |
| 保存力のみが仕事をする場合に、力学的エネルギーが保存することを、考察問題や実験を通じて科学的に探究する。 | |
| 当てはまる〇〇高校学校目標（育成を目指す資質・能力）  知識及び技能　　　　　　 　基礎学力　　　　　　　　基礎体力　　　　　　　　  思考力・判断力・表現力等 　受信力　　　　　　　　　発信力　　　　　　　　　言語表現力  学びに向かう力・人間性等 　自己管理能力　　　　　 他者と協力する力　　　　多様な意見を受け入れる力 | |
| 本時の評価のポイント | | **☑どのような評価資料（ワークシートなど）**  **を用いるのか示され**  **ていますか？**  **☑どのような条件を満たしていればＢ評価と評価するのか示されていますか？**  **☑どのような条件を満たしていれば**Ａ**評価と評価するのか示されていますか？** |
| Ｂ評価(おおむね満足できる)と評価するポイント | 教科書に載っておらず、深く考えなければ解けない問題「スタートとゴールの高さが同じ２種類のコース。早く球がゴールするのはどっち？」に対して、ワークシートに①個人考察⇒②グループ考察⇒③実験での計測後の個人考察⇒④新たな疑問の順に書かせる。その記述と生徒の観察で、以下の２点を満たしている。  ・単元の内容について、数式や例を用いて論理的に説明することができる。  ・他者に分かりやすく説明できるように工夫している。 |
| Ａ評価（十分満足できる）と評価するポイント | 上記に加え、以下の３点を満たしている。  ・協働学習の前後で、内容の理解が深まっている。  ・教科書の内容と実際に起きる現象の違いに言及できている。  ・新たな疑問や、新たな着眼点を見出すことができる。 |

③授業を実践する

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ④授業を振り返り、評価の結果を次につなげる | | | |
| 授業後に記入 | 課題と  指導改善 | ・ワークシートは、スプレッドシートよりも紙ベースの方が、グループ協議や実験計測の際に扱いやすかった。  ・ワークシートの記入時間が十分とれず、Ａ評価に値する生徒の記述は１人も見られなかった。Ａ評価となる条件の引き下げか、記入時間を長くとる必要がある。 | **☑評価の結果を教員の**  **指導改善にどう生か**  **したかが明示されて**  **いますか？** |
| Ｃ評価の生徒に対しての指導の手立て | ・他の生徒のワークシートの記述例を参考に、再度赤でワークシートに記入させて再提出を促す。 |